

みやぎ

# おおひら 議会だより

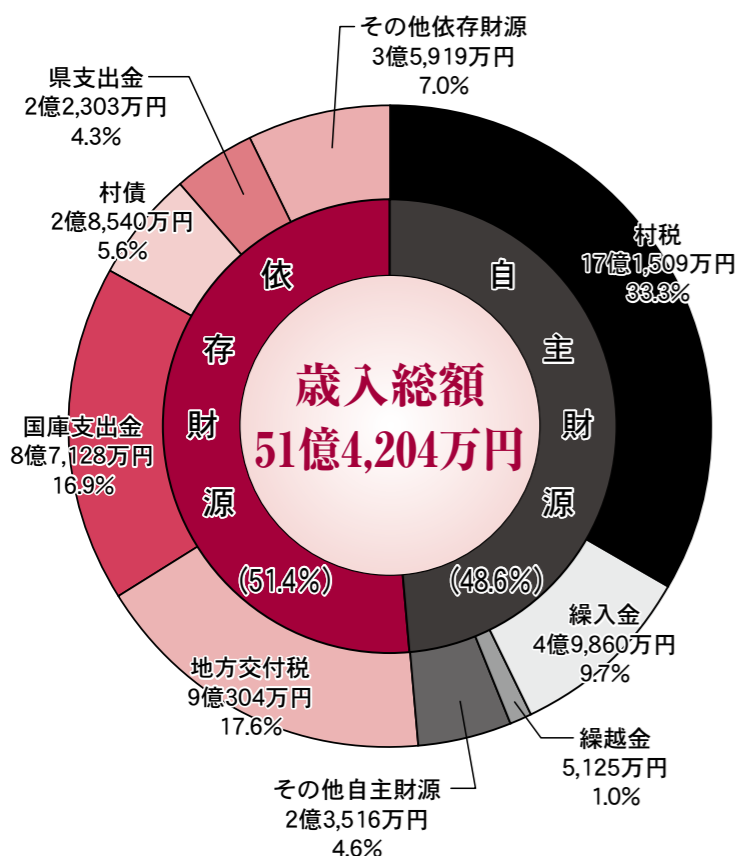


令和4年度決算認定  
決算審査特別委員会  
一般質問

みんなでさわやかな一日を  
(スポーツ交流大会)

令和4年度  
全会計を  
決算認定

# 給食センター整備に2億5千万円 一般会計歳出49億4,536万円



- ◆ 一般会計決算の概要 ◆
- 令和4年度の主な内容は次のとおり
- ① 学校給食センター整備事業・・・2億5,361万円
  - ② 生活安定給付金(全村民)・・・5,680万円
  - ③ 物価高騰特別給付金・・・2,080万円
  - ④ 地域農業継続支援金・・・3,088万円
  - ⑤ 地域産業継続支援金・・・750万円
  - ⑥ 企業立地促進奨励金・・・7,435万円
  - ⑦ コロナワクチン接種事業・・・3,664万円
  - ⑧ 万葉クリエートパーク遊具更新・・・4,171万円



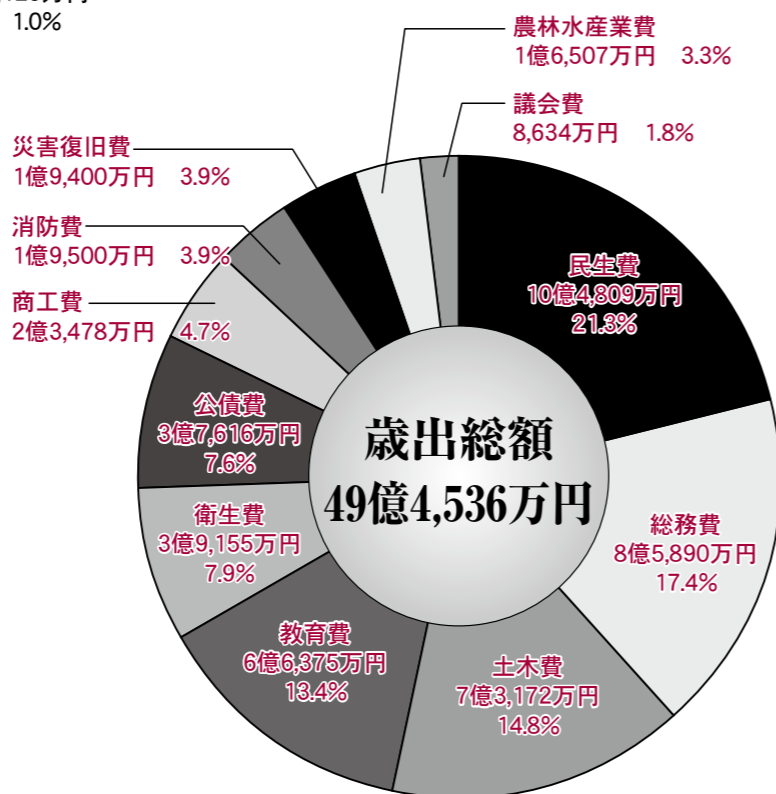
工事中の給食センター



更新されたそりすべり

◆ 監査委員審査意見 ◆  
改善点・要望点

- ① 村税滞納整理  
県滞納整理機構に移管した未納額の内348万円が納付となった。今後も未納額縮減対策及び適切な徴収事務の強化を図られたい。
- ② 決算不用額  
財政調整基金から繰り入れしている中で、1億9,668万円も繰越残金が生じている。予算執行上好ましくない。
- ③ 財政計画  
今後の公共施設等の更新を見据えて、中長期財政計画を策定し、安定した財政運営を行うべきである。



◎ 各種会計決算

会計別		歳入決算額	歳出決算額
特別会計	国民健康保険事業	5億6,253万円	5億2,450万円
	下水道事業	2億3,449万円	2億3,126万円
	介護保険事業	6億9,331万円	6億4,640万円
	戸別合併処理浄化槽	4,360万円	4,103万円
	後期高齢者医療	6,505万円	6,420万円
水道事業	収益的収支	2億6,411万円	2億3,802万円
	資本的収支	1,028万円	4,969万円

令和5年第3回定例会は、9月5日から15日までの11日間にわたり開かれた。村長提出案件は、条例改正4件、村道路線の認定1件、村道路線の変更1件、令和5年度補正予算7件、報告3件、令和4年度各種会計決算認定7件の全23議案が提出され、全て原案可決された。

# 村のお金はどう使われたか



小川克也委員長

令和4年度各種会計決算審査のため、決算審査特別委員会（委員長 小川克也）が6日間にわたり開かれた。

特別委員会では課長などに質疑を行い、慎重審議した結果「認定すべき」と決定し、9月15日の本会議で議長に報告した。

認定すべきと決定 賛成10 反対0

## 主な質疑



撤去されたままの権現橋（大瓜下）

### 村道橋梁管理

**問** 大瓜下地区の権現橋は、撤去されてから数年がたち通行できない状況が続いている。架け替え計画はあるのか。

**答** 撤去後は不便をかけるが、架橋の計画に至っていない。

地元からの要望もあり、村管理橋梁の長寿命化計画で今後考えていきたい。

### 大衡城青少年交流館

**問** 大衡城は指定管理から除外しており、利用も少ない状況である。今後の維持管理はどう考えているのか。

**答** 建物が老朽化しており村直接管理とし、利用も限定している状況である。

安全な施設管理をするためには修繕も必要であり、使用方法等を検討していきたい。

### 給食センター

**問** 給食センターの光熱水費や食材費などは、前年と比較してどのくらい上昇しているのか。

**答** 燃料費や電気料などに加え物価高騰により食材費も値上がりしている。1食当たりの給食単価についても今後検討したい。

**問** 給食センター設計業務の誤りによる工事請負契約変更の経緯と今後の対応は。

**答** 設計業者の誤りにより建築整備工事全体に変更が生じ、契約金額も増額した。設計委託業者とは、変更に至った責任等について今後協議していく。



新センターからの給食始まる（中学校）

**問** 給食センターが移転新築されるが、調理業務の契約期間と委託業者はどうなるのか。新規購入した物品類は新センターでも使用できるのか。

**答** 現契約は4年度末までの3年間である。5年度からは新たな契約となり、9月末までの期間で、新センターが稼働する10月から改めて契約となる。

購入した物品食器は新センターでも使用できるよう選定している。

### 物品台帳管理

**問** 昨年指摘したが、村所有物品で台帳に記載されていないものが修正されず、本年も記載漏れのままである。

**答** 産業振興課管理のウッドチップパーと自走草刈機である。台帳管理が不十分であり、今後そのようなことがないように台帳管理を徹底したい。

### 子育て支援

**問** 妊婦への「万葉のびのび子育て支援券」の交付状況と実際の利用状況は。

**答** 支援券は一人5万円（500円券×100枚）で2年間にわたり利用できる。4年度は46名に交付した。

4年度の使用枚数は2565枚であり、ほぼ全額使用されている。

### 農地保全対策

**問** 農地を保全していくため農地保全会の役割は重要である。各地区の保全会の活動状況と、村として農地管理対策への取組みは。

**答** 各地区で農地の多面的機能支払い交付金を活用して、農地や周辺の環境整備に努めている。村の農地利用や遊休地については農業委員会で取り組んでいきたい。



ミルク・おむつの購入に

## 芸術文化振興

**問** 村指定文化財である大瓜神楽への補助金がゼロである。減額した理由と今後の支援は。

**答** コロナ禍により神楽保存会の活動ができない状況が続いており、保存会の予算残額があり4年度補助金をゼロとした。

保存会からは神楽師の高齢化から今後の活動が困難であり相談を受けている。

**問** 村内有志で設立した太鼓の会（悠神太鼓）活動への支援も継続していくべきではないか。

**答** 悠神太鼓も自主活動となっており、4年度補助金は支出していない。現在は太鼓の指導を他にお願しており、村の助成支援は継続していく。



貴船神社で奉納する大瓜神楽



オープニングを盛り上げる悠神太鼓

## 村税収納対策

**問** 村税滞納整理の取組みと不納欠損、差押え処分の状況は。

**答** 収納困難な事案は県滞納整理機構へ委託している。滞納額のうち村民税579

万円、固定資産税1746万円、軽自動車税10万円の合計29件、2335万円を不納欠損処分とした。差押えは7件、交付要求は4件行っており、納付金額は25万円になっている。

## ふるさと納税

**問** ふるさと納税の寄付金額と個人法人の内訳は。返礼品や郵送料、サイト手数料の必要経費はいくらか。

**答** 個人が418件、法人が1件で合計476万円である。必要経費は返礼品132万円、送料44万円、手数料77万円で合計253万円となり、村収入は寄付金額の半以下となる。

**答** 返礼品の種類拡充や企業向けにふるさと納税制度のメリットなど、周知に今後一層取組んでいきたい。



返礼品の一部

**問** ふるさと納税は子育て支援策等の財源にもなる。ホームページでのPRや、企業版ふるさと納税の呼びかけをすべきではないか。

## 役場窓口延長

**問** 毎週1回役場窓口を延長しているが、コンビニでも納付や証明書交付が可能であり、役場窓口業務も検討すべきではないか。

**答** 手続きの相談等もあるので当分は役場の窓口業務延長は継続するが、住民サービスの低下にならないよう検討していきたい。

## シルバー人材センター

**問** シルバー人材センターの会員数や、国、村補助金の現状は。

**答** 会員数は80名であり、新規会員の募集確保には苦慮している。国補助金は会員100名以上であり該当しない。村補助金として1200万円交付している。

## 消防団



本番さながらの村防災訓練

**問** 消防団員の現状と災害等における出動状況は。

**答** 正規団員及びOB団員とも定数より少ない状況である。豪雨災害では4回出動しており、巡回パトロールや避難所開設にも協力いただいている。

**問** 今年に入り初の女性団員が誕生したが、企業向けに団員加入呼びかけも必要ではないか。

**答** 団員のほとんどが企業勤務者であり、今後も引き続き各企業に働きかけるとともに、女性団員の加入にも努めていきたい。

## 災害対策備蓄品

**問** 全戸に災害対策用非常持出袋を配布し相当経過しているが、その後村で物品の配布は考えていないのか。

**答** 各自で更新していただきたい。各地区に配布している災害備蓄品は、災害訓練等に確認していただきたい。経費の助成については検討していきたい。

**問** 各地区集会所に配備しているAEDの維持管理は地区の責任であるのか。

**答** パッドやバッテリーは耐用年数があり交換する必要がある。経費は村で予算措置したい。



集会所AEDと毎戸配布の持出袋



マイナンバーカードで証明書が取得できます

## 補正予算

# 企業進出で村税が増額 17億円台に

### ◎各種会計補正額

会計別		補正額	予算額
特別会計	一般会計	2億7,007万円	54億3,201万円
	国民健康保険事業	1,104万円	5億6,418万円
	下水道事業	20万円	2億6,820万円
	介護保険事業	4,690万円	6億9,890万円
	後期高齢者医療	84万円	6,184万円
水道事業	収益的支出	20万円	2億3,403万円
	資本的支出	8,829万円	2億8,064万円



登園児の名前を確認しています

### 通園バス

**問** こども園幼稚園部の通園バスの、置き去り防止策の実施はいつになるのか。

**答** 通園バスはデマンド車両を利用して、来年4月から設置が義務化されるので、10月末頃までには防止装置を取り付ける。

### 平林会館改修

**問** 平林会館改修費65万円の詳細は。

**答** 2階入り口の給湯室を改修し、授乳室として活用したい。そのため、ソファ1・テーブル・ポット等の費用である。



屋根塗装が行われた衛上集会所

### 行政区補助

**問** 衛上地区集会所の補修費として127万円計上されているが、各地区からの修繕に対する要望には今後どう対応するのか。

**答** 村補助金は3分の2で、地区負担が3分の1である。各行政区長からの要望に対し、村要綱に基づき対応していく。

### 歳入見込み

**問** 固定資産税が1億7千万円増額になる要因と他税目の今後の見込みは。

**答** 防衛調整交付金は補正後金額で本年度分は確定か。

### 中学校修繕

**問** 雨漏りで劣化した校舎の天井及び壁面修繕費に50万円計上しているが、全面修繕できるのか。

**答** 中学校校舎の修繕として20か所を行なう。残りの修繕箇所は、来年夏休み期間中に修繕したい。



修繕が必要な中学校廊下

**問** 進出企業の償却資産が増えたことにより増額となる。法人村民税は年度により増減があり、本年度は減少の見込み。防衛交付金は2次配分があり増額補正するもので、ほぼ確定金額である。

## 村道認定

# 4路線を認定・変更



新設された五反田亀岡線

	路線名	延長(m)	幅員(m)
認定	海老沢3号線	180	6.0
	糸線海老沢線	115	6.0
	五反田亀岡線	200	6.0
変更	沓掛団地線	180	6.0

### 主な質疑

**問** 新設の五反田亀岡線の周辺宅地開発の状況は。また、既存村道とは接続になるのか。

**答** 民間開発による住宅団地内の道路を村道に認定するものである。1か所だけ周辺村道と接続し、住宅地内を周回できない。

# 一般質問



## 7名の議員が村政を問う

### 質問者一覧表

- 佐々木 金 彌**  
・村道沓掛団地線の整備計画を問う
- 鈴木 和 信**  
・給食センター整備事業について  
・企業立地促進奨励金等の交付実績について
- 小川 克 也**  
・奥田地区内の県道について  
・公共交通の今後のあり方について
- 早坂 美 華**  
・インフルエンザワクチン予防接種助成の拡大を  
・0～2歳児の保育料の無償化を
- 赤間 しづ江**  
・デジタル社会における自治体広報のあり方
- 山本 信 悟**  
・新たな給食センターの取組内容と地場産食材の供給をどのように考えているか
- 細川 運 一**  
・職員の計画的な育成と接遇向上を

## 議会を傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は  
**12月5日(火)**  
からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局  
☎345-6030  
✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

# 令和5年9月定例会提出議案 23件

- 議案第47号 大衡村学校給食センターの設置、管理及び職員に関する条例の一部改正
- 議案第48号 大衡村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案第49号 大衡村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案第50号 大衡村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案第51号 村道路線の認定
- 議案第52号 村道路線の変更
- 議案第53号 令和5年度大衡村一般会計予算の補正
- 議案第54号 令和5年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正
- 議案第55号 令和5年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正
- 議案第56号 令和4年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正
- 議案第57号 令和4年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正
- 議案第58号 令和4年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正
- 議案第59号 令和5年度大衡村水道事業会計予算の補正
- 報告第8号 放棄した債権の報告
- 報告第9号 放棄した債権の報告
- 報告第10号 健全化判断比率並びに資金不足比率の状況
- 認定第1号 令和4年度大衡村一般会計歳入歳出決算認定
- 認定第2号 令和4年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第3号 令和4年度大衡村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第4号 令和4年度大衡村介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第5号 令和4年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第6号 令和4年度大衡村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第7号 令和4年度大衡村水道事業会計決算認定



ここから大衡村議会ホームページにアクセスできます。



### 採決状況

○賛成 ×反対 議長(高橋浩之)は採決に加わらない。

議案	山本 信悟	早坂 美華	鈴木 和信	小川 克也	佐野 英俊	赤間 しづ江	文屋 裕男	細川 運一	遠藤 昌一	佐々木 金彌	石川 敏	高橋 浩之	議決結果(賛成:反対)
議案第47号～第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11:0)
議案第51号～第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11:0)
議案第53号～第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11:0)
報告第8号～第10号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告は採決しない
認定第1号～第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定(11:0)



鈴木和信 議員

### 給食センター整備事業を問う 二度と起きないように最善を尽くす



完成した新給食センター

**問** 新聞報道及び議会の全員協議会・臨時会において、設計ミス・※プロポーザルのあり方・村のチェック体制等様々な指摘を受けたが、今後どのような取り組みをするのか。

**村長** 村民への説明は11月の住民懇談会で説明をする。設計ミスは工事請負業者審査委員会にて指名停止などのしかるべき対応を図っていく。また、プロポーザルや村のチェック体制は、総力を結集して体制強化を図り、発注者のあり方を再点検して責任を果たしていく。

※プロポーザル  
複数の者に対し企画を提案してもらい、優れた提案を行なった者を選定する方式



建築中の進出企業

**問** 村内進出する企業に対して「企業立地促進奨励金・雇用促進奨励金」を交付しているがその実態は。また、村内企業の村民雇用の状況は。

**村長** これまで企業立地奨励金19社14億円・雇用奨励金10人80万円を交付している。村内企業が求める必要な人材・人員の確保を中学生から職場体験を実施していく。企業が求める人材を育成していく。高校生にも奨励金の助成を行い、私自ら先頭に立って雇用促進に努力していく。

### 企業立地促進の取り組みは 自ら誘致に努力する



佐々木金彌 議員

### 村道沓掛団地線の整備計画は 今年度から事業着手

**整備計画**  
**問** 松原地区の沓掛団地が造成されて久しくなるが、この団地は国道457号線への出入り口が1か所だけと不便であり、特に冬期間は危険である。団地線の整備計画は。

**村長** 村道沓掛団地線は国道457号線を起点とした延長180mの通り抜けできない行き止まり道路となっている。

平成31年に地元から路線延長と行き止まりの解消を要望されたが、防衛調整交付金のめどがつき事業調査の委託料を補正予算に提案する。

**事業年度**  
**問** 計画では1750万円の委託料で、現道から東方向に180m延長する計画だが事業年度と予算は。

**都市建設課長** 総事業費として7000万円位を見込んでいる。2年目に用地の買収補償を進め3年目以降に工事着手となるが、財源の関係で2年程度となる。財源は約9割が交付金と考えている。

**都市建設課長** 測量調査の結果を踏まえて地権者や団地住民の方々に説明したい。公園には影響は無いと考えるが、村道沓掛座府線への接続場所は高低差等を含めて判断したい。

**村長** 団地内には小・中学生など28名の子どもたちがおり、多くの児童の安全を考えるとこの道路の必要性があり、早急に事業着手していきたい。



延伸が望まれる沓掛団地線



早坂美華 議員

# インフルエンザ予防接種助成拡大を 助成の必要性を含め検討する

**問** インフルエンザ予防接種の助成対象者と接種率は、

**村長** 65歳以上が64・7%、中学3年生が50%となっている。

**助成拡大**

**問** 他の自治体でも助成が増えてきており、本村でも対象者を拡大しては、

**村長** コロナワクチンが有料接種となる事も予想され、優先順位も考慮し助成の必要性について検討する。そのため財源確保も必要である。

**村長** どのような子育て支援策を実施したら出生率が上がるのか。今後を見据えながら将来負担も考慮し、支援策として何を優先すべきか考えていく。

**問** 令和3年度出生率では宮城県は全国46位である。少子化が進む中で今後の子育て支援の目標は、

**村長** 子育てには家計費の負担も大きく、2人目、3人目の子どもが産めない家庭もある。保育料無償化の財源が捻出できるか考えていきたい。

**問** 子育て世帯にとって保育料の無償化は、母親の仕事復帰にとって光ではないか。

### 保育料

**村長** 子育てには家計費の負担も大きく、2人目、3人目の子どもが産めない家庭もある。

## 0～2歳児の保育料無償化を 他の自治体を参考に検討



ボールプールで遊ぶこども園児



小川克也 議員

# どうなっている奥田の県道は 県へ継続して要望する

**古館奥田線**

**問** 衡下・竹ノ内沢地区から奥田・中沢地区を結ぶ路線の進捗状況は、

**村長** 路線一部に筆界未定となっている箇所があるため、平成14年度から事業が休止しているが、事業再開に向けて関連情報の提供や地権者交渉等に協力している。

**大衡駒場線**

**問** 奥田地区の交通量の状態は、

**村長** 県では、5年に1度の交通情勢調査を実施している。前回調査した27年度から比較すると、通勤経路が分散されていることで交通量は減少傾向である。



事業が中止している古館奥田線



デマンドで通学する高校生

**問** 路面や道路標識等の損傷が多数ある。迅速に補修できないのか。

**村長** 補修が必要な箇所も、県へ要望活動をしているがなかなか進まない。事故防止や交通安全の観点から継続的に要望していく。

**問** 県道のため進捗が遅い。村道に戻し村管理にできないのか。

**村長** 古館奥田線が完成すれば移管される可能性は高いが、現段階では難しい。

## 高校生にもデマンドの利用を 調査結果を検討していく

**問** デマンド型交通の利用について、中学3年生の保護者にチラシを配布した内容は、

**村長** 万葉バス等が廃止になり、黒川高校生のみのデマンド型交通の乗車を可能としてきたが、現在の中学3年生からは、デマンド型交通の利用ができない旨をお知らせしたものだ。

**問** 廃止することで高校生は益々交通弱者になっていく。

**村長** 廃止に対することで高校生に対してデマンドの利用を求める声があるのならば応えるべきでは。公共交通のあり方を検討していく。





山本信悟 議員

# 給食食材の地場産品の供給は できるだけ大衡産を使用

**教育長** 若干オーバーしている状態で、予算の中でやりくりを行い今後検討すべきことと認識している。

**問** 食品が値上がりしている状況で現在の単価でできるのか。

**教育長** 学校管理基準に基づき床をドライシステム採用し、食器には、キャラクターのひら麻呂の絵柄を取り入れ提供する。  
単価は、小学生280円、中学生330円になっている。

**給食提供**  
**問** 給食の提供と児童生徒一人当たりの単価は。

**教育長** 9種類の地場産品で年間7800kgの実績であり、今後も積極的に使用していく。

**給食食材**  
**問** 食材で使用している地場産品の品目と数量は。

**教育長** 献立を作るのは、1ヶ月前で、その前に食材を発注することは難しい。地元の食材をできるだけ使用するよう検討していきたい。

**問** 給食で使用したい食材の生産体制を考えては。

**給食無償化**  
**問** 給食無償化により村外に通っている子どもたちへの補助金の額は。

**教育長** 小学生が9名、中学生が8名、78万円を助成している。



新しい食器で給食開始（中学校）

**教育長** 指名競争入札で、㈱メフォスが落札し、委託期間は令和5年9月から令和8年3月までで総額4585万円である。

**調理委託**  
**問** 委託業者の選定方法と委託費は。

**教育長** 配送車は更新計画があり、早期に購入できるように準備している。

**配送車**  
**問** 配送車の後部全体が錆びている状況であり、食材配送車として改善すべきである。



赤間しづ江 議員

# デジタル社会における広報は 的確な情報発信に努める

**広報おまかせ**  
**問** インターネットやSNS等デジタル社会になって、自治体広報も状況の変化にそった対応が求められている。

月一回発行している広報紙の掲載記事の選択、編集方針など再検討すべきでは。

**村長** 広報編集に当たっては、毎年始めに特集を含めた掲載記事の年間計画を作成し、各課長補佐のメンバーが広報編集委員会で決定している。  
前例にとらわれず、住民に分かりやすく読んでもらえることを念頭に編集作業を行なっている。

**無線放送**  
**問** 放送開始から43年経過している無線放送を、危険防止、災害対応など本来の防災無線として活用する考えは。

**村長** 昭和55年に整備された防災無線は、災害だけでなく村や地区行事のお知らせも放送し住民に定着している。他自治体の実施状況を参考に、防災無線のあり方について検討していきたい。

**ホームページ**  
**問** 自治体のさまざまな情報を瞬時に伝えるホームページは便利で欠かせないものである。

**村長** 本村の場合、更新が遅れたり、アクセスに時間がかかるなど、課題が多い。他自治体を参考に改善すべきではないか。

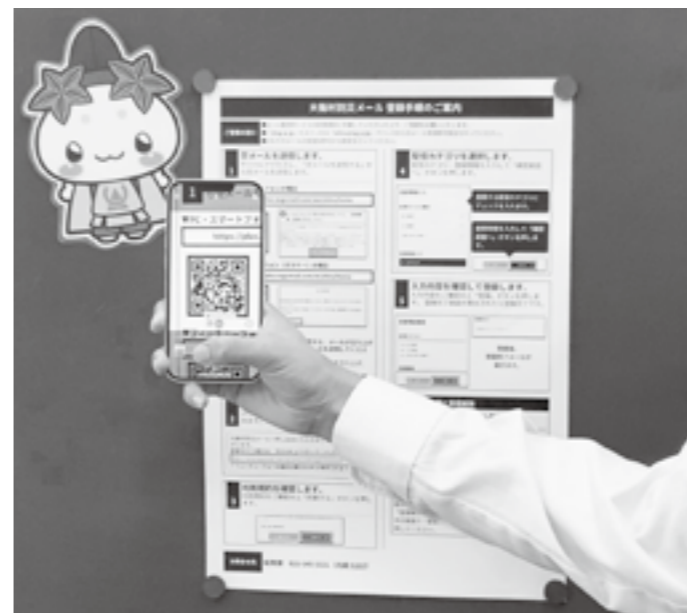
**村長** 経費をかけずにできる事から改善してきているが、費用対効果を勘案しながら再構築に向けて検討したい。

**デジタル化の推進**  
**問** デジタル社会の特性を生かす体制をどう整えていくか。

**村長** SNS等を活用した住民へのお知らせは、ホームページやLINE、X（旧ツイッター）を利用している。  
情報発信については、操作マニュアルにより各担当課が、内容とタイミングを見て適時的確に行なっている。

**問** 住民がデジタル機器を抵抗感なく、身近に触れる機会を設けてはどうか。

**村長** 受け手である住民にとって、パソコンや携帯電話での情報入手方法を抵抗なく行なえる機会を各種行事や集まりの際に設けていきたい。



瞬時に情報が得られる時代に（村防災メールQRコード）

第4回臨時会

令和5年8月4日

契約  
変更

給食センター整備工事  
契約変更を否決

◎建築工事

	変更前	変更後
契約金額	320,100,000円	333,707,000円
変更理由	鉄骨工天井受け下地追加工事 既存構造物撤去工事	

異議なし  
多数

可決

◎機械設備工事

	変更前	変更後
契約金額	212,267,000円	238,964,000円
変更理由	給水・給湯栓新設工事 仮設排水管追加工事 除雪設備設置工事	

起立採決

賛成5：反対5

議長判断

否決

◎電気工事

	変更前	変更後
契約金額	91,740,000円	100,262,800円
変更理由	トランス容量の変更 仮設電源供給工事 講堂への動力幹線配線工事	

起立採決

賛成8：反対2

可決

**問** 契約変更に伴い工事完了時期の遅れは生じないか。また、10月からの給食提供に支障はないのか。

**答** 工事完成は当初予定どおり9月8日まで完了する見込みであり、新給食センターの稼働には支障なく、2学期から給食の提供はできる。

**問** 変更に係る説明や資料が不足している。実施設計業者の責任と村の今後の対応は。

**答** 設計委託業者とは、変更に至った責任等について今後協議していく。村としては実施設計業者に対して、しかるべき対応をしていきたい。

**問** 機械設備工事で多くの追加分が生じている。当初の工事仕様書で計上されていなかったのか。判明したのはいつか。

**答** 厨房設備の給水関係の水栓が、設計業者の誤りで、仕様書から漏れていたことによるものである。施工業者が工事に着手して仕様書、図面を確認している中で判明した。

主な質疑

第5回臨時会

令和5年8月9日

否決案件(機械設備工事)を  
再度提案→賛成多数で可決

職員の計画的な育成を  
職場研修の充実を図る



細川運一 議員

**問** 職場研修のなかで公務員としての心構えを庁内で体系的に高めていく方策を考えるべきでは。

**答** 職員一人の不注意や不適切な対応で信頼を失うのは、一瞬である。職員が親しみを持ってもらえる職場環境を作っていきたい。

**問** 新たな地域課題を村民とともに考えていく職員を育成しなければならぬ。職場研修はどのように行なわれているのか。

**答** 職場の上司や先輩の指導・実務研修から培われるものであり、コミュニケーションも重要な要素である。

**問** 大衡村人材育成基本方針を改定すべきでは。

**答** 基本方針には、求められる職員像や人材育成の方策などを列挙している。これからの変革に対応できる人材を育てるためにも、見直す必要があると感じている。

**問** 初めての全体朝礼で、職員に話したことは挨拶の強化です。挨拶が出来る人間には人が集まり、話しやすい環境が生まれると考える。挨拶や気配りが足りないというところは耳に入っており、職務を自覚させて住民福祉の向上に努めたい。

**問** 接遇の大切さをどのように話しているのか。

**答** 接遇の大切さをどのように話しているのか。

**問** 来年度の施政方針で人材育成という観点で職員のスキルアップ・接遇向上についての考えは。

**答** 施政方針の中で、考え方を具体的に示していきたい。



職員研修「働き方改革」

# 行政視察 研修報告

調査年月日：令和5年9月25日～27日

調査年月日：令和5年7月31日～8月2日

## 移住定住促進

### ◎各種奨励制度

- 1. 新築住宅建築
- 2. 中古住宅取得・改修
- 3. 賃貸住宅居住
- 4. 空き家財処分
- 5. 町外通勤補助
- 6. 新規就業補助

### ◆調査結果意見

住宅建築奨励金交付要綱を一本化で対応。本村でも住宅建築助成金等の見直しを行い、一本化した施策が必要である。

## 新潟県 阿賀町



活発に意見交換

## 教育視察

### ◎学力向上について

- ・みさと学とは  
小・中学校においてふるさと教育とキャリア教育を融合し、地域社会と連携しながら行う教育。
- ・ことばの森教室  
小学校5年～中学校3年まで町内在住の専門職・経験者による作文やことば指導。

### ◎成果

学習意欲が向上し、学力向上に期待される。

### ◆調査結果意見

学校・行政・地域が一体的取組みと幼・小・中・高校の連携支援の優れた成果を研修できた。

## 山梨県 市川三郷町



「みさと学」について研修

## 新潟県 出雲崎町



遊具も充実している多世代交流館「きらり」

## 子育て支援

### ◎切れ目のない支援

- 妊 娠・出産準備金30万円・不妊治療費20万円
- 出 産・出産祝い金20万円
- 乳幼児・2歳まで紙おむつ等月5千円分支給
  - ・就学前3万円×3年間支給
  - ・保育料無償化・18歳まで医療費全額助成
- 小中学校・入学祝い金：小3万円・中5万円
- 高 校・通学時の公共交通利用30%助成

### ◆調査結果意見

年代に応じた子育て支援策が充実している。本村でも切れ目のない子育て支援策に加え、子育て支援モデル一覧表を作成されたい。

## 立地企業訪問

### ◎会社概要

- ・所在地：山梨県市川三郷町
- ・設 立：1978年12月14日
- ・資本金：1,200万円
- ・業 種：精密切削加工業
- ・従業員数：30名（平均年齢39歳）
- ・大衡村の操業開始予定：令和6年4月

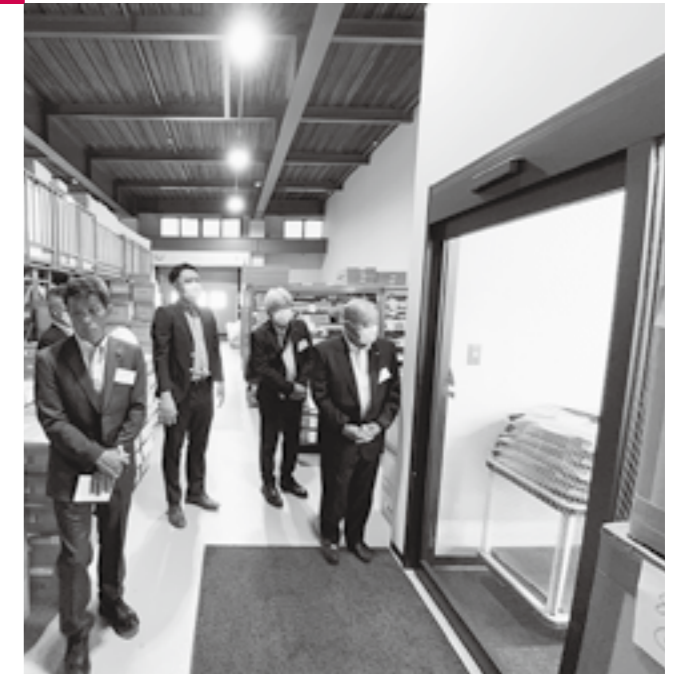
### ◎事業概要

アルミを中心とした精密切削加工・高精度の機械を何十台も所有し、切削加工は世界最高峰の精度を誇る。大衡村には、第2・第3の投資を考えており、当社としては宮城県を発展の礎としたい考えである。

### ◆調査結果意見

高精度加工とはいえ、最後は職人による手・目・耳・触感を使った技術力が決め手となるとのこと。人は機械に勝ることを実感した。

## (株)渡辺精機



常時22℃に設定された精密工場

## 新庁舎建設

### ◎庁舎の特色

- ・柏崎刈羽原子力発電所が立地しているため、放射線防護対策として住民が避難できる庁舎。
- ・議場のテーブル等は可動式で議会以外にも使用。

### ◆調査結果意見

職場改善業務を委託して2S（整理・整頓）を行っている。結果、事務の効率化による残業時間の削減に繋がったとのこと。本村でも2Sを徹底されたい。

## 新潟県 刈羽村



わかりやすい庁舎案内表示

調査年月日：令和5年7月19日

調査年月日：令和5年7月12日・27日



賑わう児童館

## 大衡児童館

◎利用状況

年間利用数	令和元年度	令和3年度	令和4年度
開館数	291日	282日	287日
未就学児	355組	29組	15組
小学生	31,191人	20,951人	24,365人
中・高校生	110人	81人	0人

◆調査結果意見  
小学生の利用がコロナ流行前に戻りつつある。今後も感染対策に留意し運営されたい。

## 上北沢排水処理施設更新

- ◎令和5年第4回全員協議会において
  - ・計画を見直し再検討すると決定
  - これまでの経緯
    - 令和2年度 上北沢排水処理場ストックマネジメント策定
    - 令和3年度 既存施設を運用しながら5か年で更新決定
    - 令和4年度 第1期工事に係る実施設計
    - 令和5年度 第1期工事費と第2期実施設計費を予算計上
- ◎更新事業を一旦停止、再検討するため視察
  - 令和5年8月24日  
視察先：福岡県川崎町・旧正栄炭鉱施設を村執行部で視察
  - 令和5年9月22日  
資源エネルギー庁・東北経済産業局調査のため来村  
議会議長・常任委員長同席



上北沢排水処理施設を調査

## 敬老会

年度	開催状況
令和元年	中学校講堂にて138名参加
令和2年～5年	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止

◆調査結果意見  
令和6年度から敬老会は実施しない。敬老祝い品も今年度で終了。  
敬老会は、各行政区に移行し、村で補助をすることで庁内検討中であった。地区の重荷にならないよう努められたい。

## 移住・定住促進

◎宮城県の移住支援金

	世帯移住	単身移住
支給額	100万円	60万円
財源負担割合	国2/4、県1/4、村1/4	

・東京に在住している方が宮城に移住し、対象求人への就業するなどの一定の要件を満たす場合、移住先の市町村が支給するもの。



多くの世帯が転入したときわ台南

◆調査結果意見  
村独自の移住・定住につながる具体的な取組みがされていない。  
村の若者世帯定住促進補助金・三世帯同居促進補助金については申請件数が少ない。補助金制度を見直すべきである。

## 学力向上

- ◎学力向上の取組み
  - ・学校支援
    - (1) 人的サポート  
児童生徒への指導・支援の充実
    - (2) 学習サポート  
児童生徒の学習定着の確認及び指導法改善
    - (3) GIGAスクール構想による一人一台タブレット  
学校における学習内容の定着と確認及び家庭学習等での活用



中学校授業状況を調査

- ◎大衡塾の開催
  - ・開催日程
    - 小学生：7月21日（金）～28日（金）  
場所：平林会館
    - 中学生：8月17日（木）～24日（木）  
場所：中学校

◆調査結果意見  
保・幼・小・中のバトンを引き継ぎ向上を図り、タブレットを有効活用し考える力を身に付けられたい。

参加希望児童生徒数（R5.6.22）

学年	希望者数(人)	在籍数(人)	申込率(%)
小学5年	37	72	51
小学6年	29	53	55
計	66	125	53
中学1年	35	60	58
中学2年	22	54	41
中学3年	14	47	30
計	71	161	44
合計	137	286	48



大衡小学校 6年  
きただて そら  
北館 青空 さん

### 魚に関する

#### 仕事をしたい

僕の将来の夢は魚に関する職業にすることです。理由は、釣りが好きで、魚を見ることや釣ることが大好きだからです。

す。大人になっても、今好きなことを仕事にして楽しみながら働きたいです。そのためには、魚のことをたくさん調べて、勉強をして努力したいです。

もし魚に関する仕事についたら、まだ明らかになっていないことを解明して人の役にたてるように頑張ろうと思います。



大衡中学校 2年  
えがし  
や八重樫みるく さん

### 素敵な一日を

#### つくりたい

私の将来の夢は、ウェディングプランナーです。私が小学校五年生の時にSNSで偶然にもこの職業の存

在を知り、その瞬間から私の心は完全に魅了されました。

私は素敵なウェディングプランナーになれるように、今のうちからビジネスマナーやブライダルに関する専門知識などを学びたいと思います。

また、専門学校進学後はより深く学んでいき、新郎新婦さんがよろこんでくれるような素敵な一日になれるようサポートしていきたいです。

## わたしの夢

### 村外からみた大衡

3人の子育てをしながら働き、通勤途中や実家へ行った際に、改めて大衡村の素晴らしさを感じています。

子育て世代にはうれしい給食費無償化、安心して登下校できるスクールバス。私も幼稚園・小学校の頃は片道2kmを、我が子も片道1・5kmを徒歩で登下校しています。仕事の都合で悪天候でも送迎できないことが多く「スクールバスがあったら…」と日々感じ、大衡村は安心して子育て

できる環境が整っていると思います。

「ママの学校!? 広いね! いいね!」と娘に羨ましがられるほど大きな校庭にちびっこ山のある小学校。自然散策できる万葉の森やクリエートパークと、大衡には魅力的な場所がたくさんあり今でも足を運んでいます。

そして大好きなのは大衡から見える「七ツ森の風景」です。

(大衡村出身)  
加美町 尾形 和香子 さん

## みんなの声



子どもたちと大衡村を訪ねて!

### 表紙写真



村民体育大会に代わるスポーツ交流大会が行われました。好天に恵まれ多くの家族が参加し、さわやかな一日を過ごしました。

### あとがき

紅葉狩りの散歩を楽しむ良い時季を迎え、スポーツをする絶好の機会となりました。

これからもスポーツを通じた健康増進により、健康長寿社会の実現を目指していきたいものです。

編集  
広報広聴常任委員会  
発行責任者  
議長 高橋 浩之

